

小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

| | | | | |
|----------------|--------|--------------|-----------------|------|
| 施策コード | 9 | 施策名 | 地域コミュニティの維持・活性化 | |
| 小施策コード | 9-1 | 小施策名 | コミュニティ活動の支援 | |
| 小施策 主管課等コード | 046700 | 小施策 主管課等名 | 市民協働推進課 | |
| 評価責任者名 | 赤坂 國彦 | | 内線番号 | 2110 |
| 評価シート作成者名 | 中嶋 孝樹 | | 内線番号 | 2111 |

Step 1 小施策の全体像

小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

| | |
|------------------------|--|
| 現状と課題 | <p>町内会・自治会においては地域の安全・安心を守る活動や住民同士の親睦を深める活動が自主的に行われており、また市の施策に対しても理解と協力をいただきながら、連携してまちづくりを進めている。</p> <p>また、コミュニティ推進地区組織においては、地域の連帯を深める活動が行われており、地区にあるさまざまな主体と一緒に、地域の課題解決・将来像の実現に向けた、地域協働による取組が現在 12 の地区で進められている。</p> <p>しかし、少子高齢化の進行により活動の担い手が不足している、活動への参加者が少ないといった、地縁団体の持続的な活動に対する不安が生じてきており、これらの課題を市と地域が一緒になって解決する必要がある。</p> |
| 取組の方向性 | <p>町内会・自治会が、住みよいまちづくりのための活動を将来にわたって持続的に展開できるよう、「盛岡市町内会・自治会協働推進計画」に基づき、補助金申請の事務負担軽減や、市と地域とのパイプ役を担う体制の整備などの支援策を進めていく。</p> <p>コミュニティ推進地区組織においては、地域の特性に合わせた主体的な活動や地域協働による取組の更なる促進を図る。</p> |
| 対象 (誰(何)を対象として行うのか) | 町内会・自治会、コミュニティ推進地区組織 |
| 意図 (対象をどのようにしたいのか) | 市民主体によるまちづくりの推進 |

Step 2 成果指標の推移

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

| 指標項目 | 単位 | 25年度 実績 (現状値) | 27年度 実績 | 31年度 目標値 | 36年度 目標値 |
|------------------------------|----|---------------------|------------|-------------|-------------|
| Aコミュニティ活動への 参加人数 (↑) | 人 | 504,341 | 561,972 | 505,000 | 505,000 |
| Bコミュニティリーダー 研修会への参加人数 (↑) | 人 | 201 | 230 | 250 | 300 |
| C () | | | | | |

Step 3 市民ニーズの把握

市民アンケート(H25)によれば、市民協働による活動に関わったことがある市民の割合は65%、関わったことの有無によらず、関心があるとする市民の割合は実に70%に及ぶものの、一方で地域協働事業において中心的役割を果たすことの多いコミュニティ推進地区組織を認知している市民の割合は36%に過ぎなかった(H27市民意識調査)。

このことから、コミュニティ活動の支援に際しては、地域協働事業の推進・周知とともに、コミュニティ推進地区組織の存在や役割、意義についても広く周知していく必要がある。

Step 4 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

| | | 役割の内容 | 役割分担 比率 (%) |
|---------------|--------------|---|----------------|
| 各主体の 役割の状況 | 市 | 町内会・自治会，コミュニティ推進地区組織に対しては，対等のパートナーとしての意識を持ちつつ支援を講ずる必要がある。 | 50 |
| | 国・県・ 他自治体 | | |
| | 市民・ NPO | 地域活動においては，中心的な役割を担っている。 | 40 |
| | 企業・ その他 | 今後において，協働のまちづくりを担う新たな主体のひとつとしての活躍が望まれる。 | 10 |

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

(理由)

町内会・自治会，コミュニティ推進地区組織に対しては，その負担を軽減する様々な支援策を講じつつも，その自主性を尊重しつつ，役割としても対等な関係性を維持しつつ，連携，協働によりまちづくりを推進するべきと考えられる。

Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

「④盛岡市町内会等公衆街路灯電気料給付金・補助金」については，町内会・自治会の経済的・事務的負担を軽減し，これによって他の地域活動の活性化が期待できるようになったほか，担当課においても事務の効率化に資するものとなった。

(2) 成果をあげた要因

既存事業の中で無駄を削減していく意識の徹底と，先例にとらわれず，新たな視点で改善を目指す方法論を模索した結果，市から電力会社に直接利用料を支払うことを可能にしたことによる。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

該当なし。

(2) 現状の問題点が生じている原因

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

Step 6 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い，もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

2 1 で記載した事業についてその理由

3 1 で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）